

# 1. 香川県における水道の広域化の意義と効果について

第1回審議会資料より

## ◆ 水道を取り巻く課題

- 人口減少等に伴う料金収入の減少
- 施設の老朽化による更新需要の増大
- 南海トラフ地震などの大規模災害や渇水への備え
- 職員の大量退職等に伴う次世代への技術継承の困難化
- 香川用水の取水制限の頻発化及び自己水源の水質悪化



## ◆ 広域化の目的

### 将来にわたる安全・安心な水の安定的供給

## ◆ 見込まれる効果

- スケールメリットを生かした経費削減や業務効率化
- 人員の適正配置と機動性の高い柔軟な組織体制の構築
- 計画的な施設整備や官民連携による技術の継承
- 水源の一元管理による円滑な水融通

→広域化により運営基盤の強化や住民サービスの向上を図る



H30.4.1  
全国初  
「県内一水道」  
の実現

※17団体  
(直島町を除く8市8町と  
県)の水道事  
業を統合



# 1. 香川県における水道の広域化の意義と効果について

## ○広域化による効果

### ◎スケールメリットを生かした経費削減や業務効率化

事業開始時には財務システム、設計積算・工事検査業務や水質検査計画を統一、令和2年度には水道料金システムの稼働、検針・調定・収納の取扱いを統一し、経費削減や業務の効率化を図っている

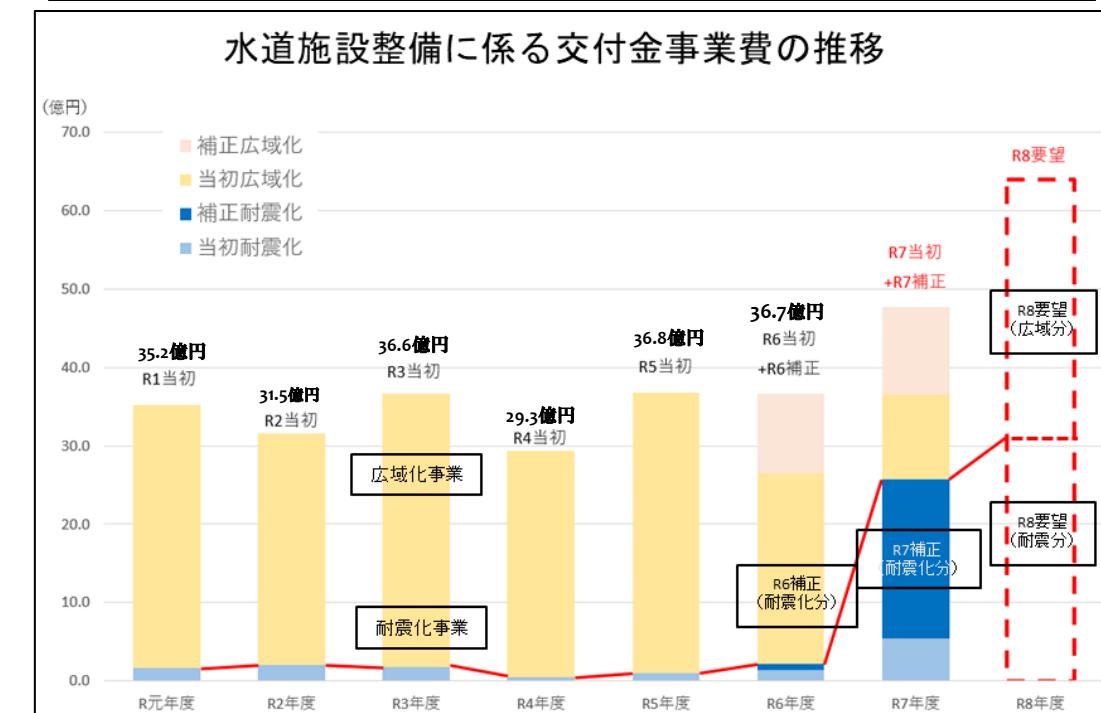
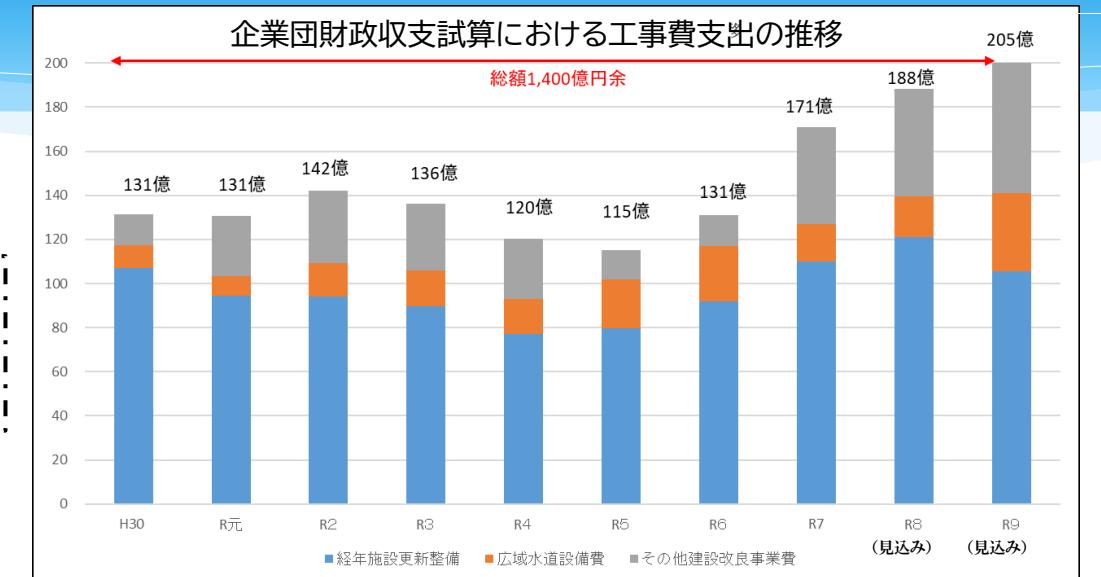
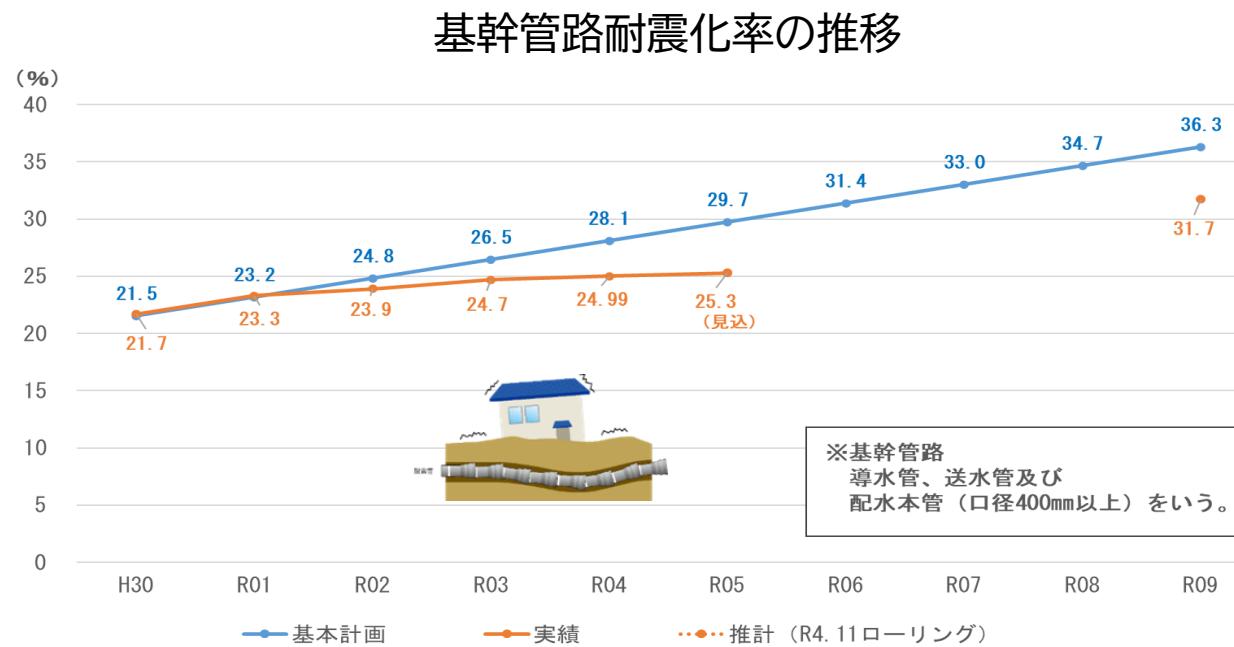
### ◎人員の適正配置と機動性の高い柔軟な組織体制の構築

事業開始から2年間は、企業団全体の管理・統括を行う「本部」と、16市町に「事務所」を設置していたが、令和2年度から「事務所」を5つのブロック統括センターに統合。市町の区域を越えて事業を集約することで、広域的な基盤強化や事務事業の効率化を行い、適正な組織体制の構築を図っている

## 1. 香川県における水道の広域化の意義と効果について

## ◎ 計画的な施設整備や官民連携による技術の継承

災害に強く、持続可能な水道システムの構築に向け、水道インフラの老朽化・地震対策に必要な予算を確保するとともに、水管路等の耐震化を加速しています。



# 1. 香川県における水道の広域化の意義と効果について

## ●官民連携の推進

(浄水場等運転管理業務)

### 各ブロック管轄エリア

#### 高松ブロック

東部浄水場  
高松市、三木町、綾川町

#### 中讃ブロック

中部浄水場  
丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町  
琴平町、多度津町、まんのう町

#### 西讃ブロック

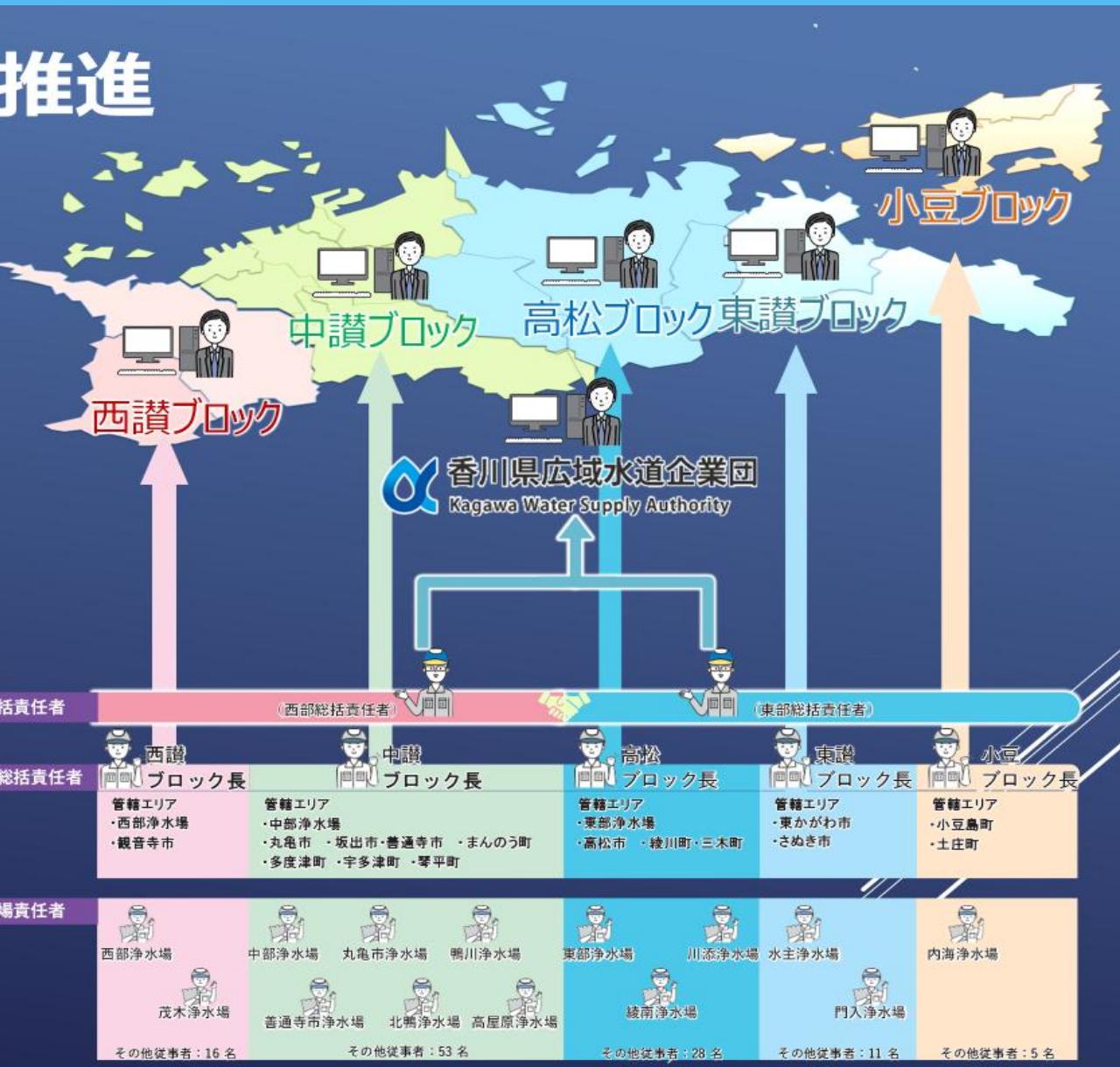
西部浄水場  
観音寺市

#### 東讃ブロック

東かがわ市、さぬき市

#### 小豆ブロック

小豆島町、土庄町



# 1. 香川県における水道の広域化の意義と効果について

## 【漏水事故等への対応】

### 応援体制の迅速化

- 広域連携による人員派遣・資機材の相互融通

### ◎事例 1：漏水修繕材料の相互融通

高松 B C→広域送水



### ◎事例 2：給水車の相互融通

中讃 B C→東讃 B C



撮影場所：さぬき市立さぬき北小学校  
撮影日：令和2年11月25日



## 【危機対策訓練（震災対策）】

- ◎広域送水管理センターを含めた全ブロック統括センターと本部において、毎年震災対策訓練を実施

今年度は、西讃ブロック管内で甚大な被害が発生したと想定し、観音寺市と共同で応急給水訓練を実施

### ◎訓練内容

各ブロック統括センターから給水車で応援給水をおこなう

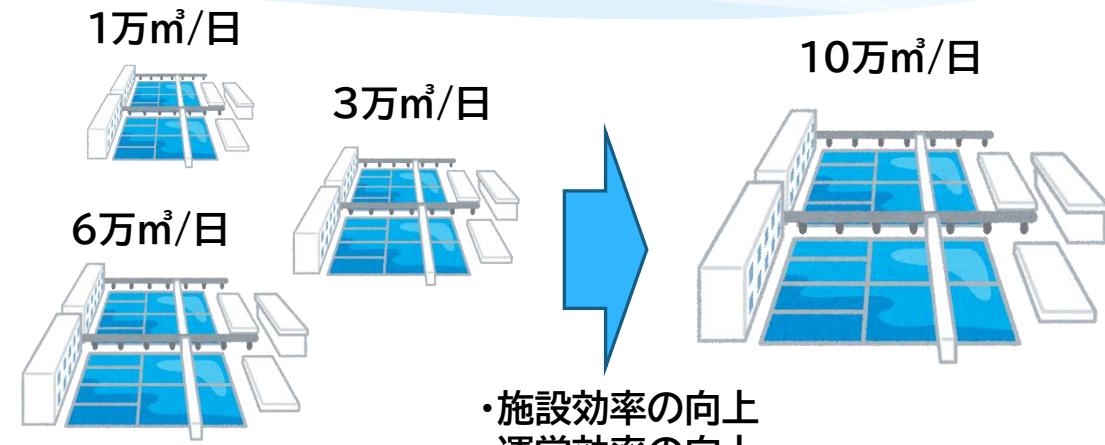


- ◎訓練実績 R 5:高松BC、R 6:中讃BC、R 7:西讃BC

## 2. 広域的・一体的な水運用の拡大へ 一市町別の視点から、施設・料金ともに全県的な（県内一水道の）視点へ

### 【浄水場の統廃合による効率化】

- 水道事業の運営基盤を強化するために、  
浄水場の統廃合などを実施、水道施設等の  
維持・管理、運営等の効率化
- 行政区域を越えた施設整備による円滑な水運用

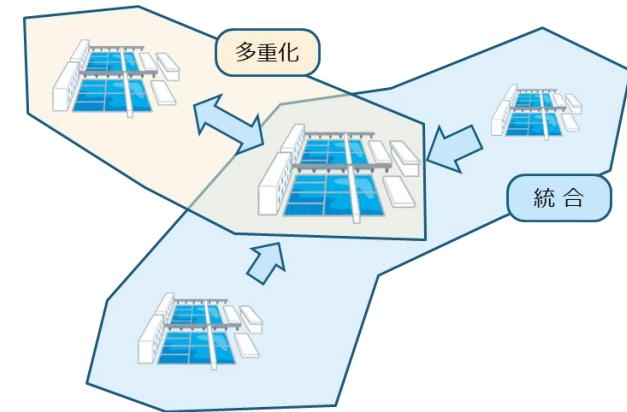


### 【事業効率性【浄水場(所)数、更新事業費】の向上】

整備効果項目	整備前 (R8)	整備後 (R25)	整備効果
浄水場(所)数	84箇所	54箇所	△30箇所
更新事業費（主要な浄水場）	約649億円	約280億円	△369億円
内訳	西讃浄水場整備関連	約79億円	約69億円
	中讃浄水場整備関連	約486億円	約135億円
	東部浄水場拡張関連	約84億円	約76億円

- 令和8年度から令和25年度まで  
⇒浄水場(所)数を30箇所削減  
⇒更新事業費を約369億円削減

- 隣接する浄水場の統廃合による効率化
- ポンプ場、配水池等の施設配置の見直しによる更新需要の削減
- 浄水場をまたぐ連絡管整備による多重性の確保



## 2. 広域的・一体的な水運用の拡大へ 一市町別の視点から、施設・料金ともに全県的な（県内一水道の）視点へ

### ◎水源の一元管理による円滑な水融通

